



2020年1月10日

各位

会社名 株式会社 チョダ
 代表者名 代表取締役社長 澤木 祥二
 (コード番号 8185 東証第一部)
 問合せ先 経理部長 井上 裕一郎
 (TEL. 03-5335-4142)

2020年2月期通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

2019年10月11日に公表しました2020年2月期通期業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2020年2月期通期連結業績予想の修正(2019年3月1日~2020年2月29日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当り当期 純利益(円)
前回発表予想(A)	115,600	100	500	△1,200	△33.69
今回修正予想(B)	113,800	△1,600	△1,100	△2,500	△70.18
増減額(B-A)	△1,800	△1,700	△1,600	△1,300	—
増減率(%)	△1.6	—	—	—	—
(ご参考)前期通期実績 (2019年2月期)	118,568	1,669	2,266	1,613	45.04

2020年2月期通期個別業績予想の修正(2019年3月1日~2020年2月29日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当り当期 純利益(円)
前回発表予想(A)	88,800	1,500	△80	△2.25
今回修正予想(B)	88,200	700	△700	△19.65
増減額(B-A)	△600	△800	△620	—
増減率(%)	△0.7	△53.3	—	—
(ご参考)前期通期実績 (2019年2月期)	90,522	3,552	3,595	100.36

修正の理由

個別業績では、当第3四半期累計期間は概ね計画通りに推移しましたが、12月は全国的な暖冬と北日本や日本海側の地域で降雪量が大幅に減少し、防寒ブーツなど季節商品の販売が大きく落ち込み、同月の既存店売上高前年比が▲10.2%となりました。また、値引き販売が想定以上に増加し、今後も滞留在庫の積極的な処分を進めることから、売上高総利益率の低下が見込まれ、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見通しとなりました。

尚、当期は商品鮮度の向上を目的として、たな卸資産評価損の計上方法を見直し、追加的な評価損を第2四半期に1,157百万円計上し、期末にも同約6億円積み増す計画としております。これにより、売上総利益率が前期に対して大幅に低下する見込みとなっております。

子会社(株)マックハウスも、歳末セールが盛り上がり欠け、12月の既存店売上高前年比が▲11.6%と計画を大きく下回りました。また、滞留在庫の積極的な処分に伴い、売上高総利益率も計画を下回る見込みとなり、業績予想を修正いたしました。

以上により、2020年2月期通期の業績予想（連結・個別）を修正いたしました。

2019年4月12日に公表いたしました2020年2月期の配当予想額（期末37円、年間74円）につきましては、変更しておりません。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表時点において収集可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。